

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和3年7月2日（火）

1～4校時(8:50～12:20)

場所：体育館、校外（校区内遺跡）、各教室

対象者：松江市立八雲小学校6年生73名

指導者：八雲小学校教員4名

島根県埋蔵文化財調査センター2名

1. 主題名 郷土の史跡から思いを巡らす

2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通し、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・校区内の雨乞山古墳、池ノ尻古墳の現地調査をし、遺跡の特徴について体験的、専門的に理解を深める。

3. 授業の流れ

日程と学習活動	指導上の留意事項など
9:00～9:30（体育館） 1. 本時の学習の方向をつかむ。 ・古墳クイズをする。	・古墳に興味をもつよう、事前にクイズを含むワークシートを配布し、記入させておく。
めあて：八雲の古墳を探検しよう。	
・八雲の古墳群や古代の八雲の様子について話を聞く。	・写真入りのワークシートを準備するなどして、視覚的にわかるようにしておく。
9:30～11:40（現地） 移動片道50分、説明30分 2. 遺跡に触れ、専門的な話を聞く。 A班 雨乞山古墳→池ノ尻古墳 B班 池ノ尻古墳→雨乞山古墳	・各班、教員2名、指導員1名が引率し、安全上、健康上の配慮をする。 ・現地では説明が聞きやすいよう適宜、指示をする。
11:40～12:10（各学級） 3. 古墳の模型を作る。	・雨乞山古墳の石室を思い出して作るよう促す。
12:10～12:20（各学級） 4. 活動を振り返る。 ・ワークシートに記入する。	・学んだことや感想が書きやすいワークシートを用意する。

5. 準備物など

- ・筆記用具、たんけんバック、ワークシート、水筒、タオル、帽子、長袖、長ズボン